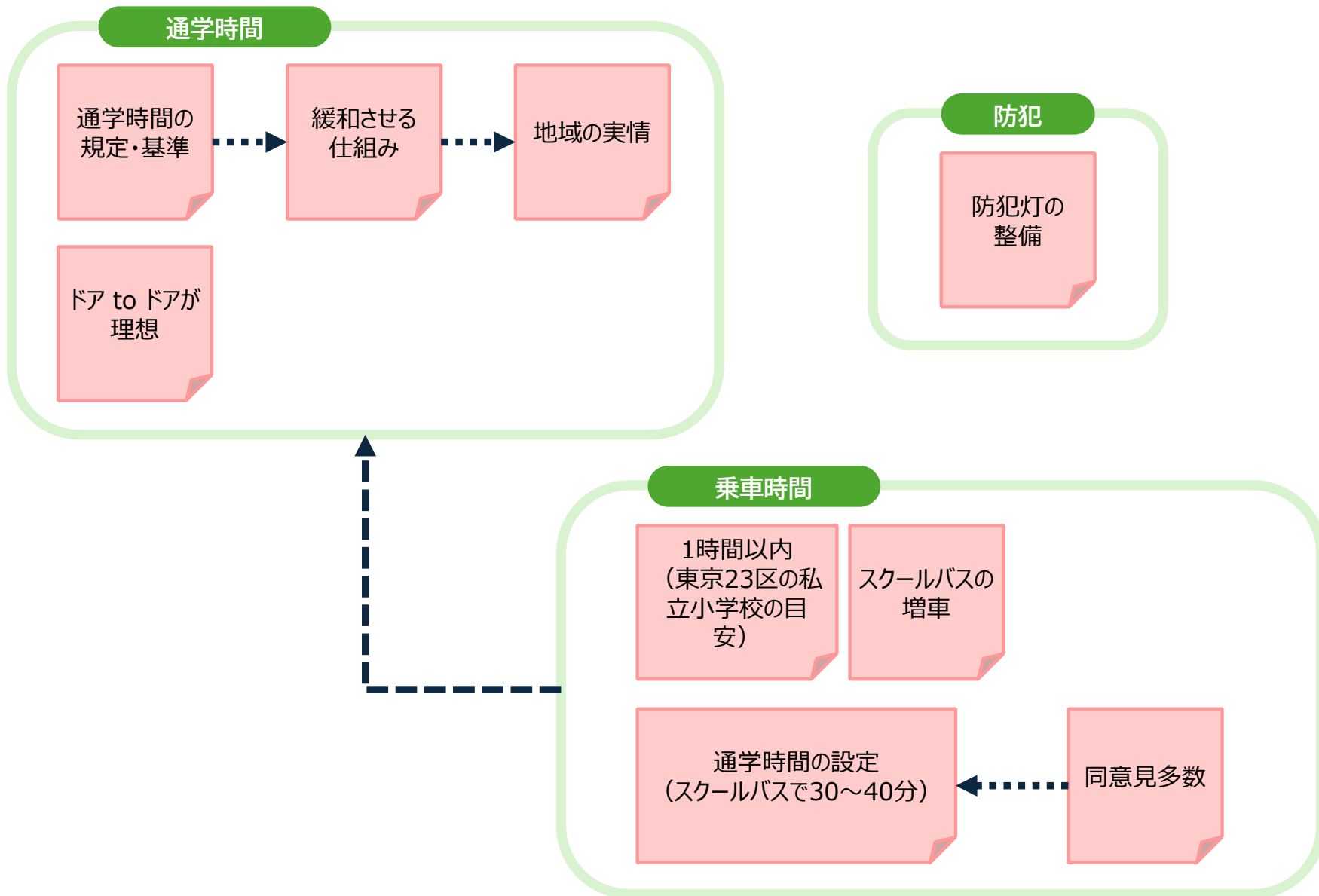


■ 1班 課題3 通学環境の確保



■ 2班 課題3 通学環境の確保

乗車時間

バスは40分
程度

小学校：15分以内
中学校：30分以内

バスは冬場は1時間が限界だと思う
乗車時間が長いと朝も早くなるため、
子どもが大変

吹雪時

除雪状況
と連携

吹雪の時に学校へ行
けなくなることが不安
(交通止め等)

路線

スクールバスの
路線の整備

遠い地域は
直接送迎

地域別
スクールバス

学校位置

学校の位置の
工夫

学校数も大事だと思
うが、住む地域から遠
くなりすぎるのも心配

JR

JRや路線バス
の協力が必要

中継点

中継点を
設けても良い

一番重要だと思う各
地域ごとに細かく調査
する必要があると思う

バス通学のメリッ
トがほしい
(付加価値)

■ 3班 課題3 通学環境の確保

乗車時間

バス：20～30分程度
できれば10～15分以内

1時間以内

低学年を考慮すると
30,40分程度

小学生なら
30～40分

他の市町村の
事例

吹雪時

40分程度
吹雪の際は
オンライン

転校が悪くな
ることが想定さ
れる場合は
オンライン授業

吹雪対策でGPS
除雪業者と連携

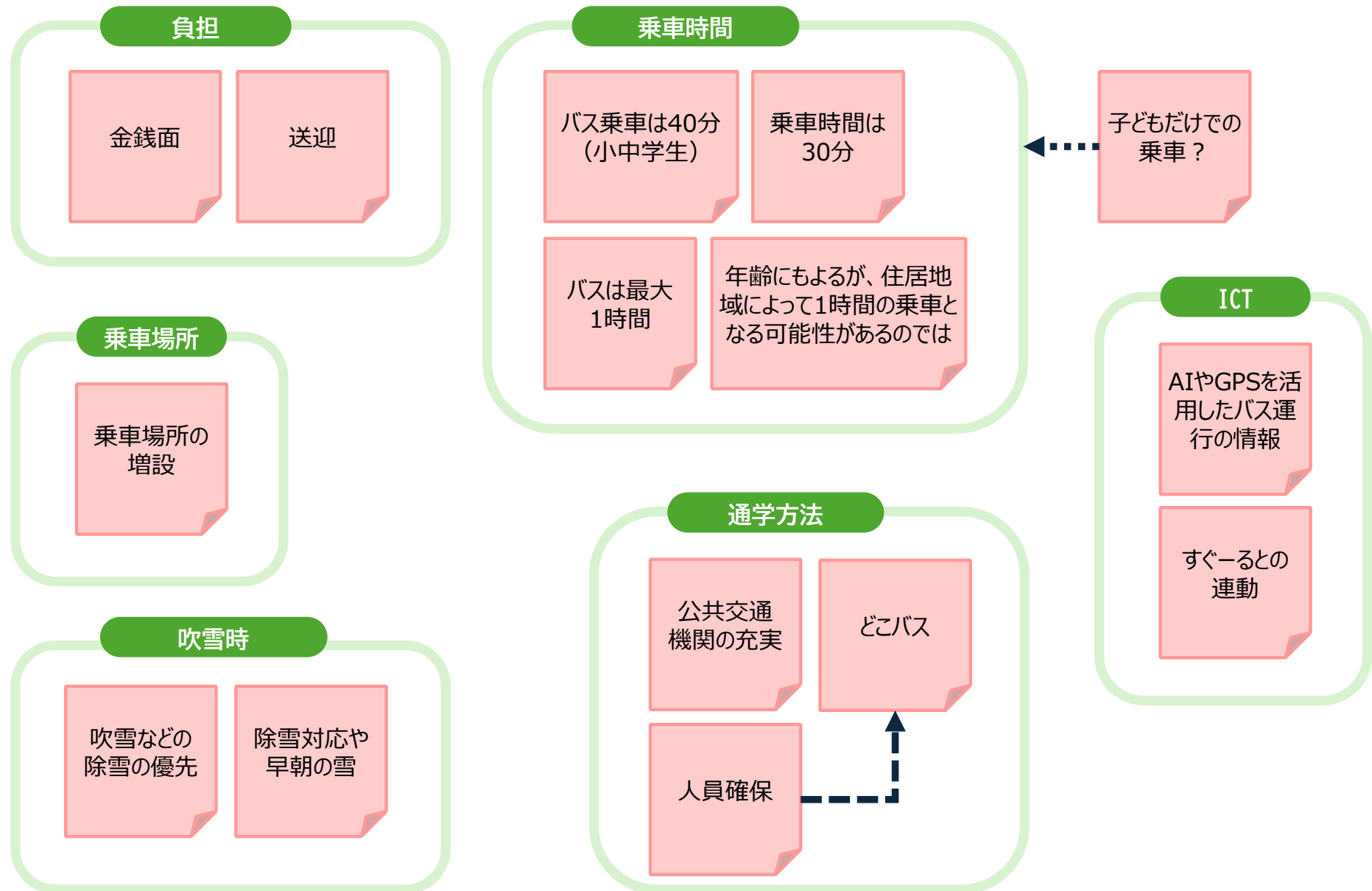
通学方法

通学方法が
選べる

路線バスの
利用

現学校集合・
解散で登下校

■ 4班 課題3 通学環境の確保



■ 5班 課題3 通学環境の確保

乗車時間

バス乗車時間は片道30分以内が望ましい
(乗物酔い、トイレ、学習時間、睡眠時間に影響)

最大1時間以内
低学年は1時間も
厳しいかもしれない

授業開始時間にもよるが、
30分程度が
理想

乗車場所

送迎時の乗
降場所と渋滞
などのリスク

現状でも大きな負担がある
既存のどこバスに学校スクール
時間外の運行・回数券の発行

学校位置

近くに学校が
あることが安心

市内外の学
校を考えない
といけない
現状でも遠い

通学方法

放課後は
どうする

スクールバスの運行
は現実的？

運転手の確保
費用・安全面
子どもの負担

色々な意味で
バスは確保で
きるのか

実現可能性
見立て

通学時間
学校側からの
連絡

悪天候、緊急時

緊急時（災害、悪天
候、急な予定変更）
への対応しやすさ